

特許情報調査・分析の実務と戦略

難易度

中級

～パテントマップの作成と活用の勘所～

2020年2月7日(金) 10:00～17:00

講師 扇谷 高男氏 一般社団法人発明推進協会 知的財産研究センター長



◆2015年に国連でSDGs(持続的開発目標)が採択され、2016年に日本政府が提唱したSociety5.0が、世界中で高い評価を受けるなど、大きな社会変革が起ころうとしています。その中で、業種、技術分野、更には国を超えて、新たなビジネスの連携と競争が起こり始めており、知財戦略と事業戦略・研究開発戦略の三位一体戦略を構築している企業だけが、持続的に成長・発展していきると言われています。

◆その中で、知財担当者は、特許情報を適切に調査・分析し、その分析結果を、経営者や研究開発担当者に分かり易い形で提供することによって、最適の知財マネジメントを実現し、三位一体戦略の構築に貢献することが求められています。

◆本講義においては、企業の知財部門管理者及びその支援者を目指す方々を主な対象として念頭に置き、特許情報をどう読み解くか、パテントマップをどう作成し、どう分析・活用するか等について、演習を交えながら、共に考えていきたいと思えます。

アジェンダ

- ① 知的財産マネジメントと特許情報
- ② 特許情報調査・分析の勘所
- ③ パテントマップ作成・活用のポイントと留意点
- ④ パテントマップを作成してみよう(演習)
- ⑤ パテントマップを分析してみよう(演習)

◇弁理士の皆様へ この研修は、日本弁理士会の継続研修として申請中です。本講座を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として5.5単位が認められる予定です。

◇本講座は、企業、大学、研究機関、特許事務所或は発明奨励団体等で、特許情報分析実務に携わる方で経験年数が2年～5年の方々にお勧めします。

◆日時 2020年2月7日(金) 10:00～17:00

◆会場 虎の門三丁目ビルディング1階 研修室 (東京都港区虎ノ門3丁目1-1)

◆定員 40名

◆講師 扇谷 高男氏 一般社団法人発明推進協会 知的財産研究センター長

◆受講料 会員16,500円・一般19,000円 (※消費税込み)

◆申込 FAXもしくは、HPからお申込下さい。(<http://www.jiii.or.jp> 「知財 ist 研修・スポット講座他」)